

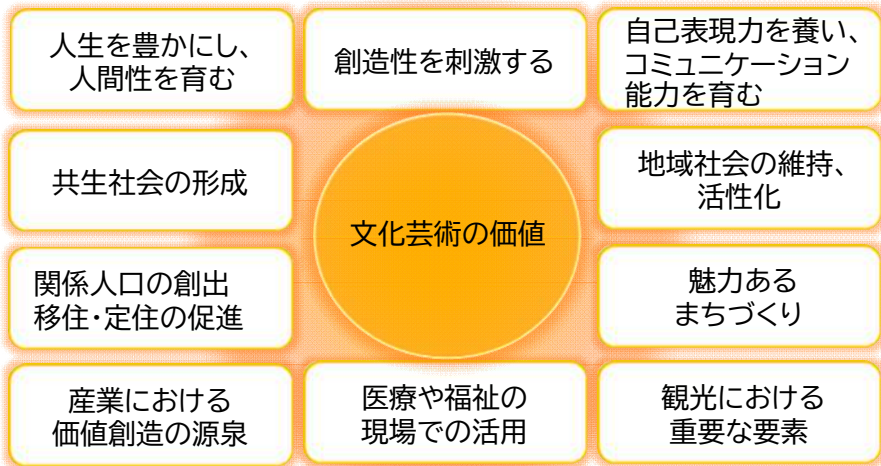
第6期

静岡県文化振興基本計画 2025-2028

文化芸術は、私たちの五感をひらき、創造性を高め、豊かな人間性を育むとともに、人と人を結び、多様性と活力に満ちた社会をつくる源泉となります。

私たち一人ひとりの創造性を、新たな文化芸術の創造、地域文化の継承に活かし、地域への誇りの醸成につなげるとともに、多分野との協働を進め、イノベーションを創出するなど文化芸術の力を活用した未来の人づくり、地域づくりに長期的な視点で取り組みます。

文化芸術の力を活用し、誰もが自分らしく生きる幸せを実感できる「ウェルビーイング社会」を創り上げていきます。



本計画において対象とする文化芸術の範囲

文化芸術の範囲は、音楽・美術・演劇・映画・アニメ、伝統芸能、食文化等、衣食住をはじめとする暮らしの全般にわたります。

また、文化芸術は作品の創作や発表にとどまらず、まちづくり、産業、観光、福祉、教育など多分野にわたり、全ての人に関わるものであることを基本的な考え方としています。

主な課題と方向性

○未来への投資

- ・文化芸術は創造力の源泉、長期的視野での施策展開が必要
⇒人生を豊かにし、活力を生む

○文化芸術の力の可視化

- ・多分野との協働により生み出された新たな価値の可視化
⇒文化芸術の力を活用する人々の増加

○多様な文化施設の連携強化

- ・地域格差解消、独自性ある文化芸術の創造に向けた連携の強化
⇒県全体での効果的な事業展開

○アーティストとの連携

- ・住民とアーティストの相互理解
⇒魅力ある地域づくり活性化
⇒アーティストの創造・発表・保管場所等の支援者の増加

○双方向性の重視

- ・アーティストと参加者との双方向性を重視した取組の拡充
⇒誰もが持つ創造性の発揮
⇒文化芸術、アーティストへの関心向上

○創造性の重視

- ・「創造性」は誰もが持つ力
- ・創造的・主体的な取組の活性化
⇒地域の魅力再認識、生きがい実感

○国内外への発信

- ・S P A Cの世界的評価等を活かした本県文化芸術の一体的発信
⇒本県文化芸術の存在感の向上

○多様な団体との連携

- ・多分野の団体・企業による文化芸術の力の活用
⇒活動分野の質の向上
⇒文化芸術との接点の拡充

○多様な人々の交流の促進

- ・県内各地で小規模な創造・交流拠点の増加、多様な人々の交流
⇒相互理解、コミュニティ形成
⇒新たな活動、地域文化の拡充

○コーディネート機能の重視

- ・双方向性、協働、交流をコーディネートする人材の確保
⇒効果的な事業の実施

主な指標	現状値 (R6)	目標値 (R10)
1年間に文化芸術に関わる活動を行った人の割合	17.1%	25%
自分が住んでいる地域の文化的環境に満足している人の割合	43.6%	50%

一人ひとりが創造性を発揮し、 つながり、生み出す ウェルビーイング社会の実現

～ 文化が起点となり、イノベーションを創出する好循環の形成 ～

私たちに楽しさや感動、生きる喜びをもたらして人生を豊かにし、人間性を育む**文化芸術への投資は『未来への投資』**であり、**地域の活力の源泉**となります。

文化芸術が、人生と社会の根幹に深く関わり、**ウェルビーイングの根幹**にあるという観点に立ち、**未来の人づくり、地域づくり**に長期的視点で取り組みます。

基本目標 の考え方

私たち一人ひとりが、独自の視点で導き出したアイデアなどを持ち寄り、相互に影響を与え合い、新たな価値や活動などを生み出すことにより、地域が豊かになるとともに、誰もが生きがいや幸せを実感できるウェルビーイング社会の実現を目指します。

《副題》 先行きが不透明で将来の予測が困難な時代に生き抜くためには、創造性が求められます。イノベーションの起爆剤となり得る文化芸術の力を多分野に活かすことで、作品や製品・サービス、社会システムなど、新たな価値を創出し、その経済効果が文化芸術に再投資される好循環を形成します。

【重点施策1】 世界に輝くしずおかの文化芸術の創造

豊かな地域資源を活用した本県の魅力や価値が際立つ独自性の高い文化芸術を創造し、文化的な厚みが豊かな静岡県のブランドイメージを形成し、世界に向けて新しい価値を発信します。

- 世界遺産富士山の文化的価値の発信
- 「演劇の都」構想に基づくSPACの世界的な活動
- 県文化施設等における創造的な企画・活動
- 伊豆文学賞の実施
- 超老芸術のブランド化
- 食文化の発信
- しずおか遺産の魅力発信



【重点施策2】 県民による創造的な活動の活性化

多様な人々を包摂する共生社会の実現を目指し、県民が主体となり創造性を発揮する機会を充実させるとともに、県民とアーティスト等との交流を促進することにより、地域への誇りの醸成、地域社会の活性化を図ります。

- 県芸術祭の開催
- アーツカウンシルしずおかによる県民主体の創造的な活動の活性化
- 高齢者等、多様な人々の創造活動の促進
- 体験・参加プログラムの充実
- 専門的人材の育成、顕彰



【重点施策3】 多分野との連携による イノベーションの基盤づくり

文化芸術と、まちづくり、産業、観光、福祉、教育等の分野との協働を促進することにより、地域社会の創造性を拡張し、各分野においてイノベーションを生み出す人づくり、基盤づくりを進めます。

- まちづくり、産業、観光、福祉、教育等
多様な分野との連携を推進
- 地域文化ネットワークの形成
- コーディネート人材の育成、連携



【重点施策4】 文化芸術に触れる機会の充実

生涯にわたり、誰もが文化芸術を身近なものとするため、デジタル技術とリアルな場を融合した多様な手法により、文化芸術に触れる機会の充実を図り、地域格差の解消と、双方向性を重視した取組の普及につなげます。

- 県民が文化芸術に触れる機会の充実
- こどもたちへの文化芸術体験機会の提供
- 誰もがアクセスしやすい環境づくり
- アウトリーチ等の充実
- デジタルアーカイブの活用



【重点施策5】 文化芸術を支える環境づくり

人口減少社会を踏まえ、県文化施設等の今後の方向性を定め取り組むとともに、文化芸術の担い手等のネットワークや活動領域の拡大を図り、文化芸術を支える持続的な環境づくりを進めます。

- 県文化施設の効果的な運営、計画的な修繕
- 文化芸術に関わる担い手等のネットワーク化
- 伝統芸能の担い手や支援者等への支援
- アーティスト等が活動を続ける環境づくり
- 文化活動の継続に向けた財源確保

